|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 受付番号 |  | 課題番号 |  |

2023年度申請　自由学園最高学部研究奨励金申請書【高等科在学生用】

自由学園最高学部

最高学部長　高橋 和也　殿

応募要項にもとづき、奨励金を申請します。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 申請日2023年 | | | | | | | | 00 | 月 | 00 | 日 |
| ふりがな | じゆう　たろう | | | | | | 所属と学年 | | | | |
| 申請者氏名 | 自由　太郎 | | | | | | 高等科 | | | 3 | 年 |
| 連絡先 | 住所 | 〒 | 000-0000 |  | 東京都東久留米市学園町1-8-15  東天寮 | | | | | | |
| 自宅電話 | 000-000-0000 | | | | ＰＣメール | xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx@xxx.xxx.ne,jp | | | | |
| 携帯電話 | 000-000-0000 | | | | 携帯メール | xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx@xxx.xxx.ne.jp | | | | |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 1研究課題 | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ | 2研究区分 | 3助成申請額 | |
| B国内 | 50,000 | 円 |
| 4研究内容 どのような研究を行うかを、研究の動機や目的とあわせて説明してください。可能ならば、これまでの準備状況や今後の研究計画（何をいつまでにどのように行うか）も述べてください。最終到達地点まで複数年かかる見通しの研究課題の場合、年度ごとにどのように進捗する予定なのかも明確に記述してください。 | | | | |
| 枠内に収まるように記入することが望ましいですが、ポイントや行間を変えても構いません。また、別葉を添付しても構いません。以上のことは以降の項目も同様です。  研究は誰もが行うことができます。最高学部に入学してからの学びのすべてを想定して考えてみてください。生活経営研究実習・領域横断研究などの研究・実習カリキュラムから研究内容を定めても、教養科目・技能科目・感性科目・ライフデザイン科目などの講義から研究内容を定めても構いません。さらには、ネパールワークキャンプやデンマーク研修やポーランド研修などの生活教育カリキュラムから内容を定めても構いませんし、設定は自由です。大切なのは、アイディアやプランがあること、そして研究を行う力や環境があることです。すでに準備していたり成果があったりすれば尚よいです。何のためにいくら資金が必要と書けばもっとも明快です。そして、その研究がどういう結末を迎えるかのイメージも大事です。この説明は次の項目に続きます。 | | | | |
| 5研究意義 研究の学術的な意義、社会的な効果、あるいは自由学園らしさ、などについて述べてください。 | | | | |
| さて、上記の続きの前に、研究の意義とは何か考えてみましょう。そのためには、学校のお金を使いますので、学校が何を皆さんに求めているかを考えるとよいでしょう。それはとにかく、皆さんの成長です。本研究を通して皆さんの最高学部生における成長が加速することを願います。それが期待できるアピールをこの欄ではしてください。皆さんの研究ですから、もっともよくわかっているのは皆さんです。その研究の背景には何があるのかをここでは述べてください。そして上に戻って、研究計画ですが、とにかくここまでやるのだという意思表示をしましょう。目標に向けての努力さえしてくれれば、できなかったのでお金を返せというような野暮なことは言いません。例えばTOEICの点数が現在400点なのをこういうことをして800点をマークするというのも立派な成果です。教養をつけるということはそれ自体が社会貢献です。 | | | | |
| 6研究推薦者・指導者氏名（職業・学位など） | | | | |
| もしいればご記入ください。記入例：遠藤敏喜　最高学部教授・博士（理学） | | | | |
| 7研究経費 申請額の積算根拠と具体的な支出計画を説明してください。 | | | | |
| ここでは研究遂行上かかる費用の内訳と役割を明確にしてください。なお、研究奨励金を最高学部の校納費にあてることはできません。使用対象が不明確となるためです。また、採択された場合、研究期間中の領収書やレシートは、報告書提出の際に照会することがありますので、処分せずに手元に残しておいてください。 | | | | |